

超短期海外派遣プログラム（シンガポール&マレーシア）募集要項

募集概要：

本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます^(注)。

南洋理工大学、シンガポール工科大学、マレーシア科学大学、ソニー、横河電機等を訪問し、見学、講義受講（英語）、研究室訪問、学生交流を予定しています。本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

【派遣先】 シンガポール、マレーシア（ペナン島）

【渡航期間】 2019年2月20日（水）～3月3日（日）（11泊12日）
シンガポール航空直行便、シンガポールからマレーシアはシルクエアを利用予定です。

【費用】 180,000円（予定）（航空券代、空港税、現地宿泊費）
*現地での諸経費（食費、交通費等）は上記の費用には含まれません。
*大学の指定する海外旅行保険に加入してください。

【応募資格】

1. 東工大正規課程学生（学士課程および修士課程の学生）。国籍・性別・学年・学科等は不問。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている者を優先する。
 - ① グローバル理工人育成コースの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
 - ② ポートフォリオに必要事項（「学生情報シート」および「科目省察シート」）を記入している。*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細は、以下のURLにて要確認。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/>

【応募方法】 添付の申請書を留学情報館宛てに提出。

【募集人数】 10名（最少催行人数6名に達しない場合、プログラムを中止する可能性がある。
また10名に達しない場合、費用が高くなる可能性がある。）

【選考方法】 書類審査及び面接

【応募締切】 2018年11月8日（木）

- *応募に際しては、申請書類に指導教員、またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。
- *留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間等を確認の上、応募の可否を自身で判断すること。
- *応募説明会：10月10日（水）、10月17日（水）ともに12:30-13:30 @H111
- *海外派遣プログラム2018年夏合同実施報告会10月10日（水）、10月17日（水）（ともに13:30-@H111）のいずれかに参加すること。

【面接予定日】 2018年 11月12日（月）～13日（火）（追加面接を行う場合があります。）

【事前・事後学習】

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられる。

2018年12月12日（水）書類説明オリエンテーション、危機管理オリエンテーション

2018年12月19日（水）奨学金関連書類提出締切

2018年12月～2019年2月：事前学習3～5回（日程は別途通知）

2019年5月：個別報告会

【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象である。以下の基準を満たした学生には10万円が支給される場合がある。（別途書類の提出が必要。必要書類については、選考後の全体オリエンテーションにて説明する。）なお、学内規定により国費留学生には奨学金の支給はない。

奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者、または国費以外の留学生
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること ➡ 学業成績書で確認する。

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

（「評価ポイント3の単位数」×3）+（「評価ポイント2の単位数」×2）+（「評価ポイント1の単位数」×1）+（「評価ポイント0の単位数」×0） / 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満（JASSO規定の計算式に基づく）の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合がある。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者（原則として家計基準に合致する者） ➡ 申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

（注）

1. 学士課程1年生および2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門1」の単位が付与される（1単位）。
2. 学士課程3年生及び4年生、また修士課程の学生の参加については、「グローバル理工人研修1」の単位が付与される。学士課程4年生の参加については、以下の条件を満たす必要がある。
 - ① 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。
 - ② 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。
- 3 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等ではなく、所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。
4. 本プログラム参加にあたっては上記1～3に記載されているいずれかの科目を必ず履修すること。（本年度の取得単位数の上限を既に超えている学生は、別途問い合わせのこと。）
5. 帰国後、本学において単位付与出来ない場合には、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
6. 安全上の理由によりプログラムが渡航延期、中止される場合があり、その際キャンセル料については原則自己負担となる。
7. 宿泊は原則としてツインルームとなる。

【問合せ・申請書提出先】

留学情報館（大岡山南6号館4階405号室） メールボックス：S6-9

電話：03-5734-3520 / e-mail: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp

平成30年度 超短期海外派遣プログラム(シンガポール&マレーシア)日程案

注：訪問内容は現地の都合により一部変更になることがあります。

Date		行動予定	訪問内容	宿泊
Day 1	2019 2月20日	水 日本時間 朝：羽田空港発 現地時間 午後：チャンギ空港到着		シンガポール
Day 2	2月21日	木 南洋理工大學 (Nanyang Technological University)	研究室訪問・講義体験など	シンガポール
Day 3	2月22日	金 シンガポール工科大学・デザイン大学 (Singapore University of Technology and Design)	研究室訪問・学生交流など	シンガポール
Day 4	2月23日	土 タウンウォーク	現地ジャーナリストの案内で シンガポール歴史ツアー	シンガポール
Day 5	2月24日	日 タウンウォーク	現地ジャーナリストの案内で シンガポール歴史ツアー	シンガポール
Day 6	2月25日	月 南洋理工大學 (Nanyang Technological University)	現地学生との交流など	シンガポール
Day 7	2月26日	火 博物館 横河電機	博物館見学 企業・工場訪問	シンガポール
Day 8	2月27日	水 午後：チャンギ空港発 午後：ベナン空港着		ベナン
Day 9	2月28日	木 マレーシア科学大学 (Universiti Sains Malaysia)	研究室訪問・学生交流など	ベナン
Day 10	3月1日	金 ソニー	企業・工場訪問	ベナン
	3月2日	土 夜：ベナン空港発、チャンギ空港着 夜：チャンギ空港発		機中泊
	3月3日	日 日本時間 朝：羽田空港着		